

<金標準、出口の見えないイラン戦争で逃避需要回復・・・>



(出所：オアシス)

米国とイスラエルは、イランに対して弾道ミサイルや空爆を実施し、イランの最高指導者であるホメイニ氏の殺害に成功している。しかしイラン革命防衛隊は、世界の原油輸送の7割を占めるホルムズ海峡を閉鎖したと発表し、原油価格は80ドルを超えると、週末にはトランプ大統領が「イランとのディールは、無条件降伏以外にはあり得ない！」と投稿すると出口が見えない戦争の長期化の懸念が原油価格を90ドルまで押し上げている。特に一時イラン空爆でリスク逃避の買いで金標準先物は28420円まで高値を試すも、原油高のインフレ懸念に伴う利下げ後退や逃避のドル高に抑えられ、26400円まで下げている。しかし原油価格が90ドルを超え、出口が見えない戦争に100ドルの声も聞こえるなど、金価格を押し上げる要因へ変化してくると思える。また紛争が長期化し市場の予想を超えてエスカレートすれば、金は支持を得る可能性が高いと見られ、セーフヘイブン需要の再構築が促され、金価格を最近の、あるいは前例のない高値に押し戻す可能性は強まると思える。

<テクニカル>

金標準先物の日足のMACDでは、MACDが下げながら、シグナルも切り上げている。RCIは短期が下げながら、長期も上昇している。特に日足が指数平滑移動平均線のレンジを上回り、基調は強気へ傾いた状態が続いていると思え、28420円へ向けた値動きには注意と思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行って下さい。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 5,840,000 円(2026年3月9日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約10倍から70倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚あたり往復 121,440 円(2026年3月9日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)
証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>